

解答

問題 1

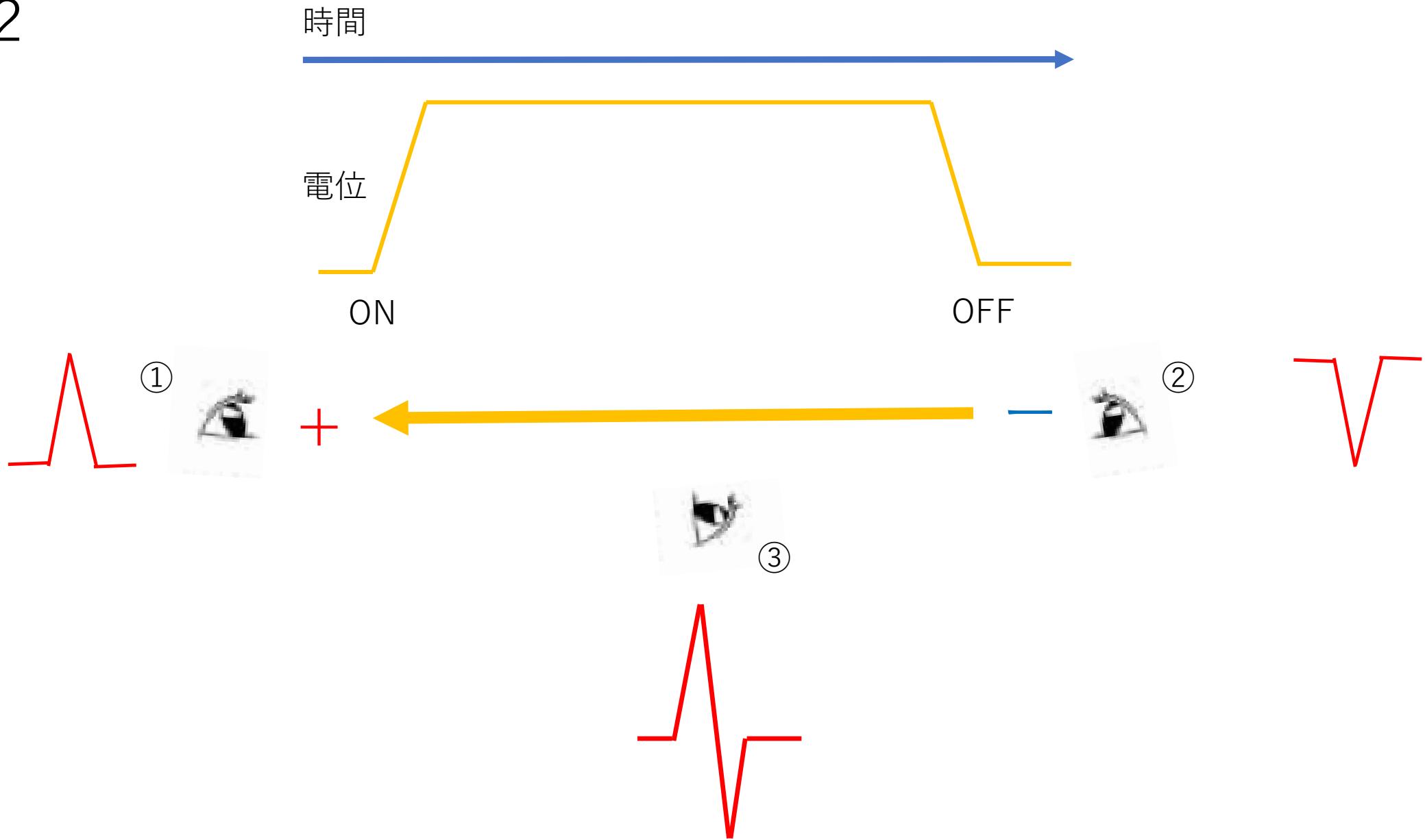


5mm幅が
5マス

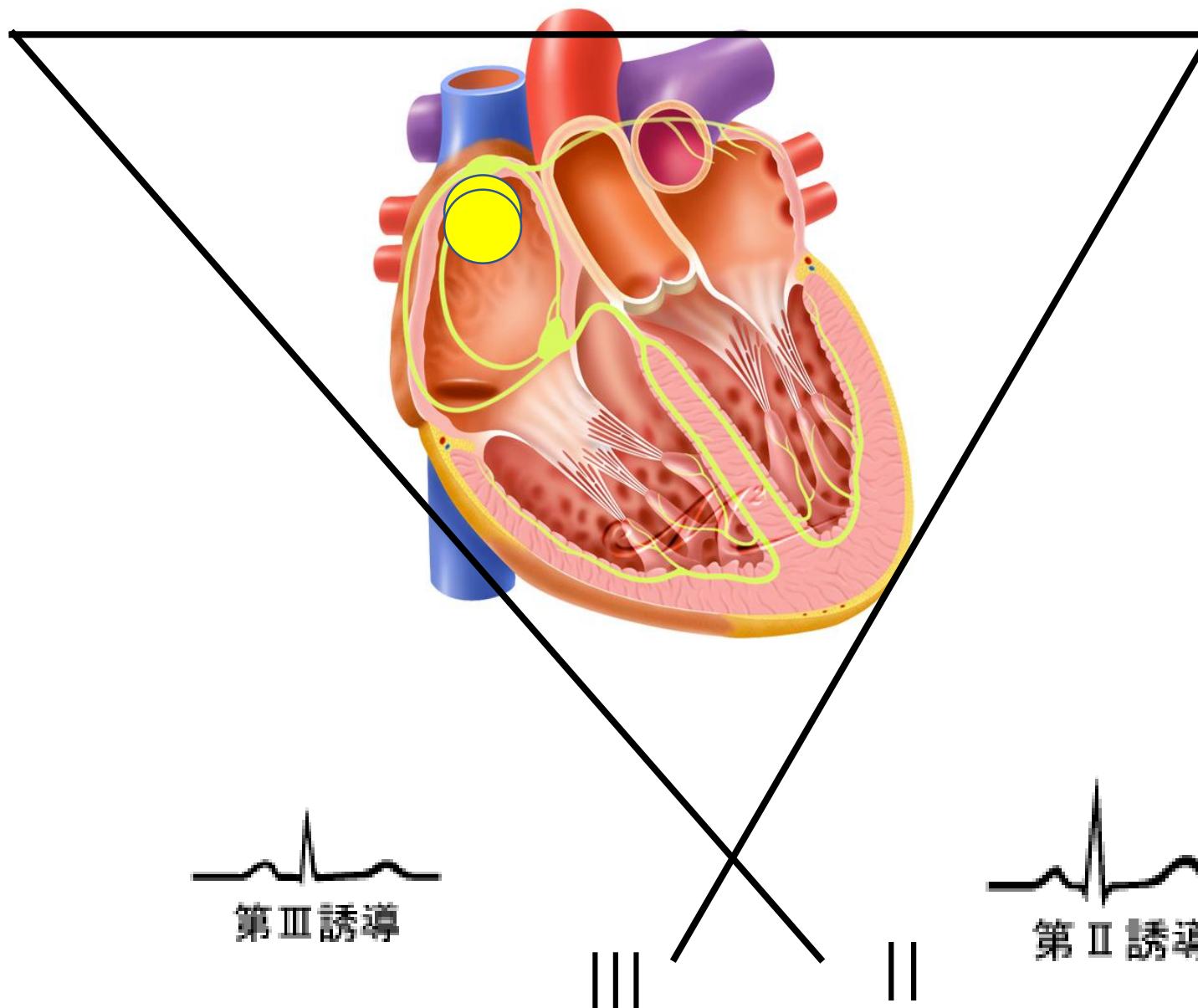
5 mm幅 = 0.2秒
0.2秒 × 5 マス = 1秒
1秒に1回脈をうつ = 1分に60回

A 脈拍は60回/分

問題 2



問題 3



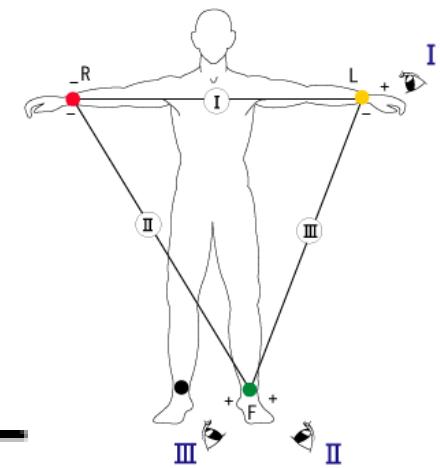
III



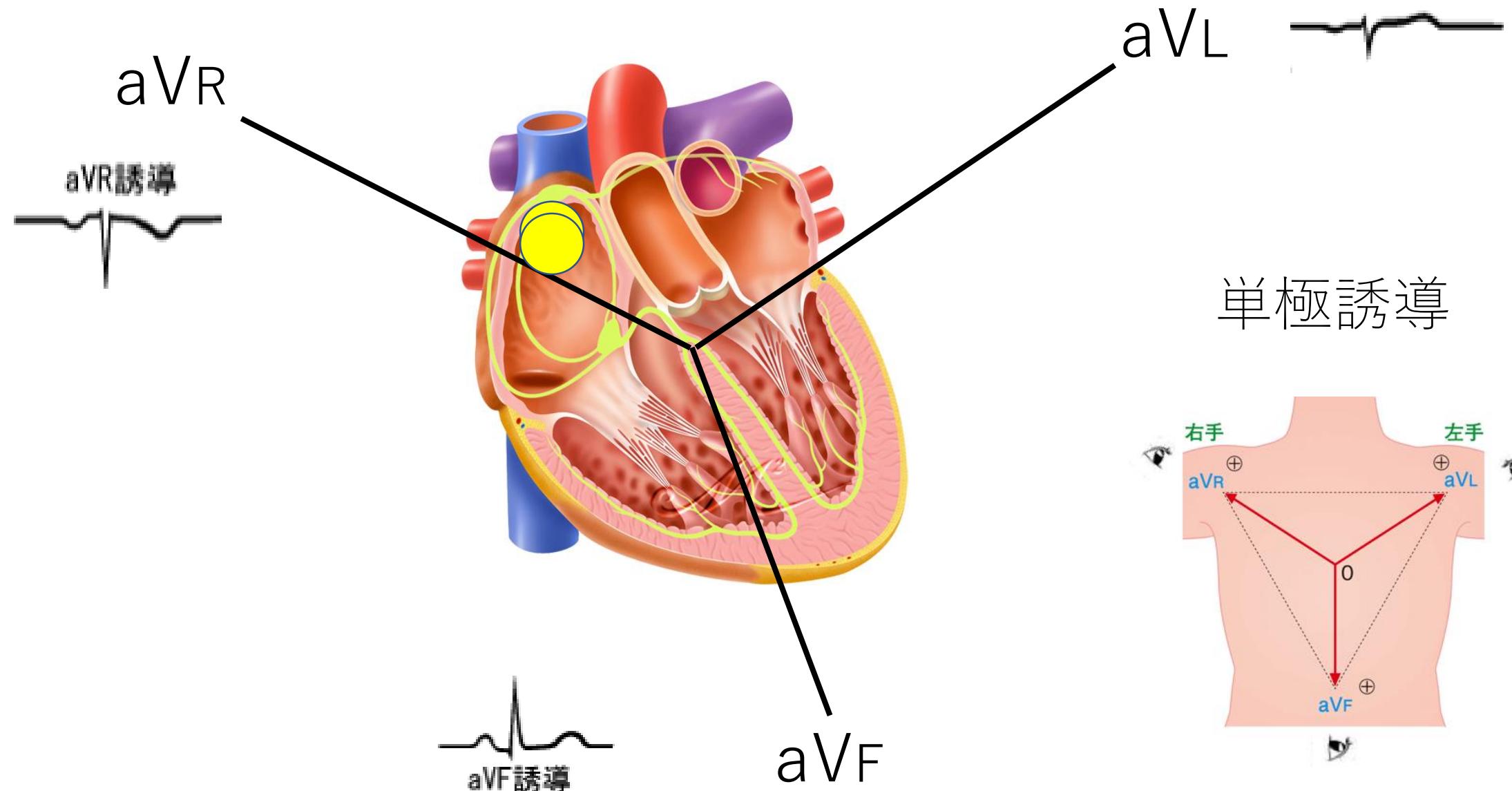
II



双極誘導

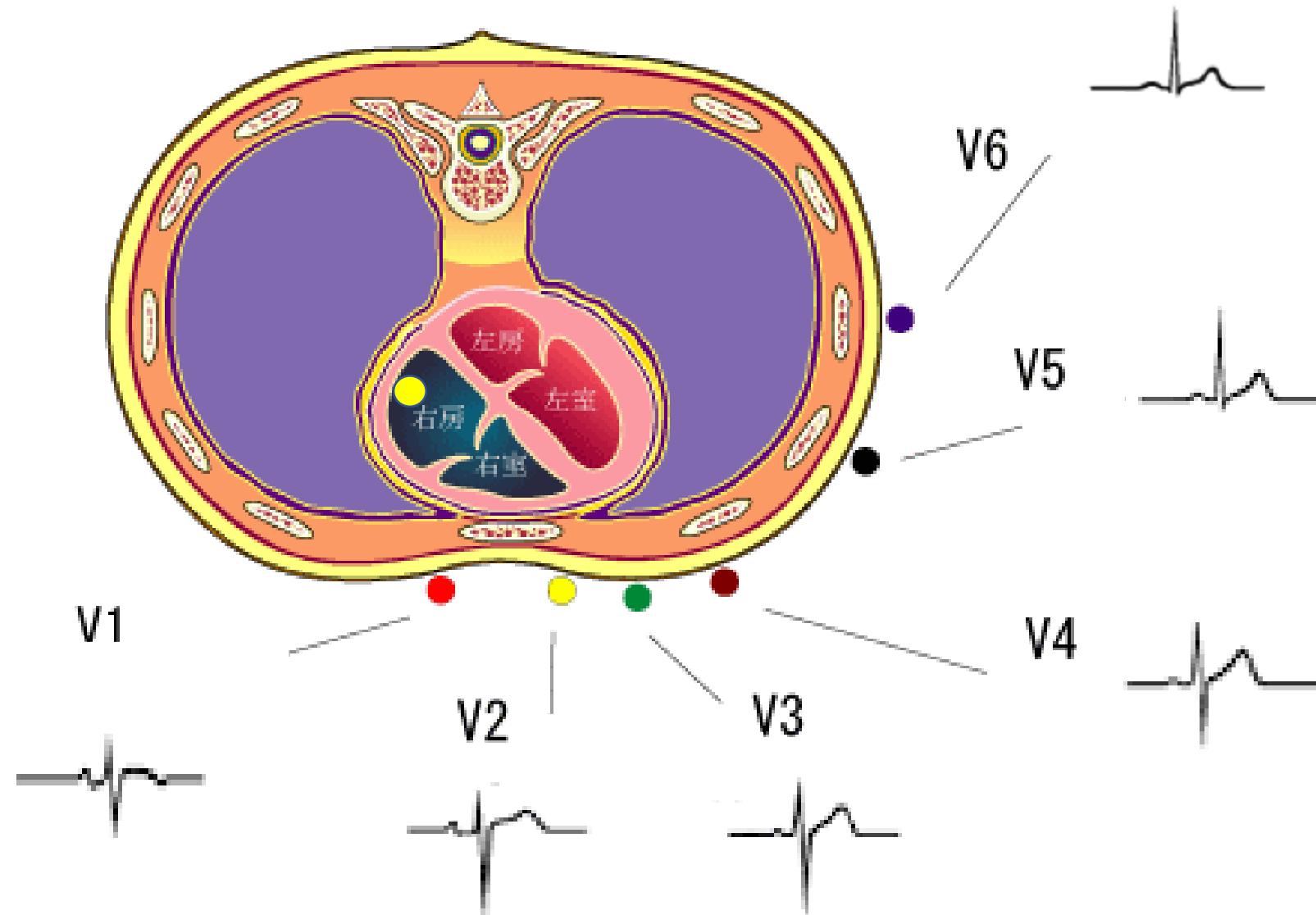


問題 4



問題 5

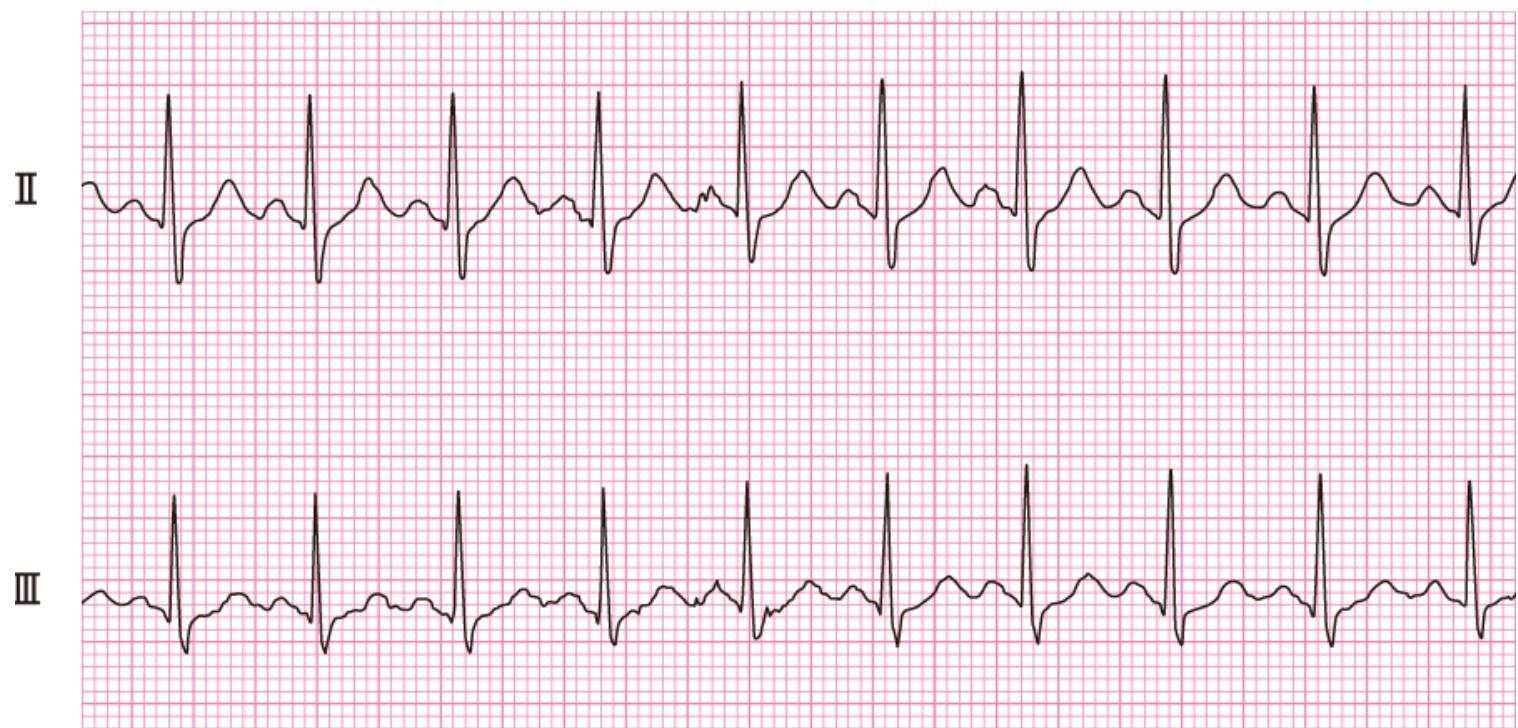
胸部誘導



問題 6

頻脈

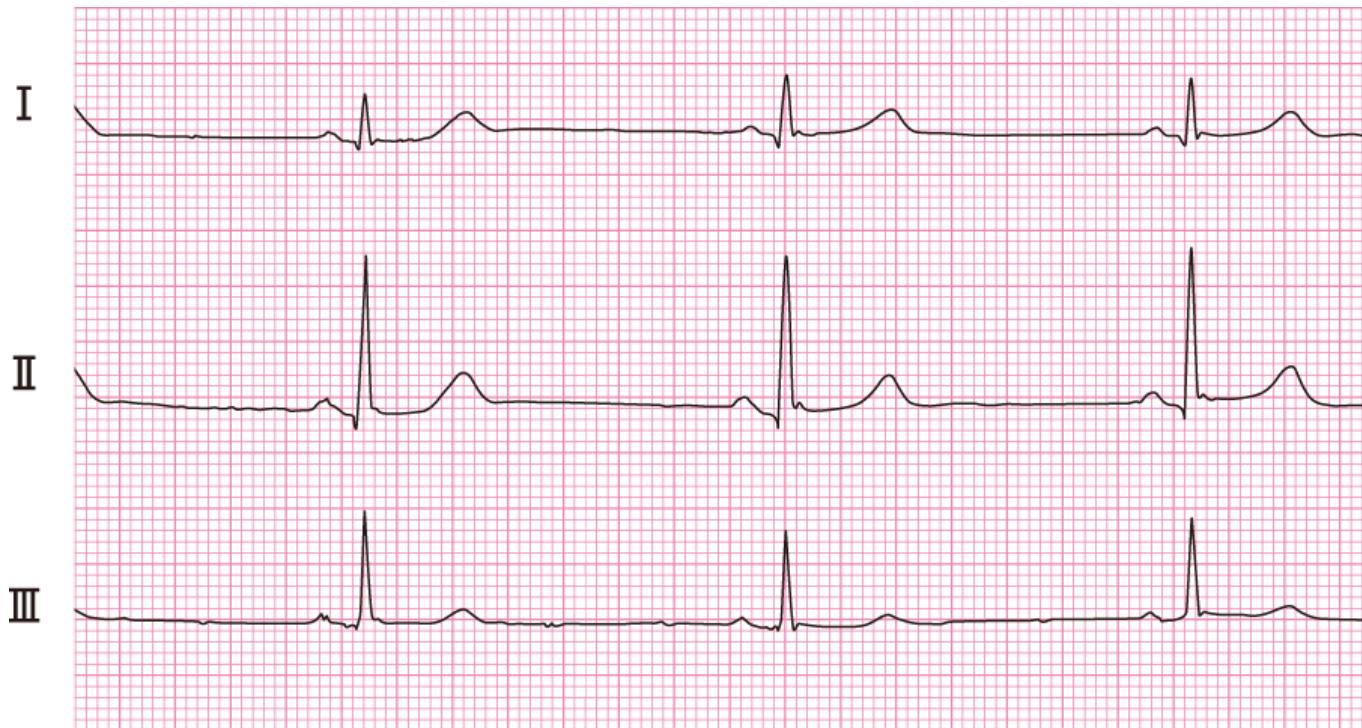
A : HR 150bpm



問題 7

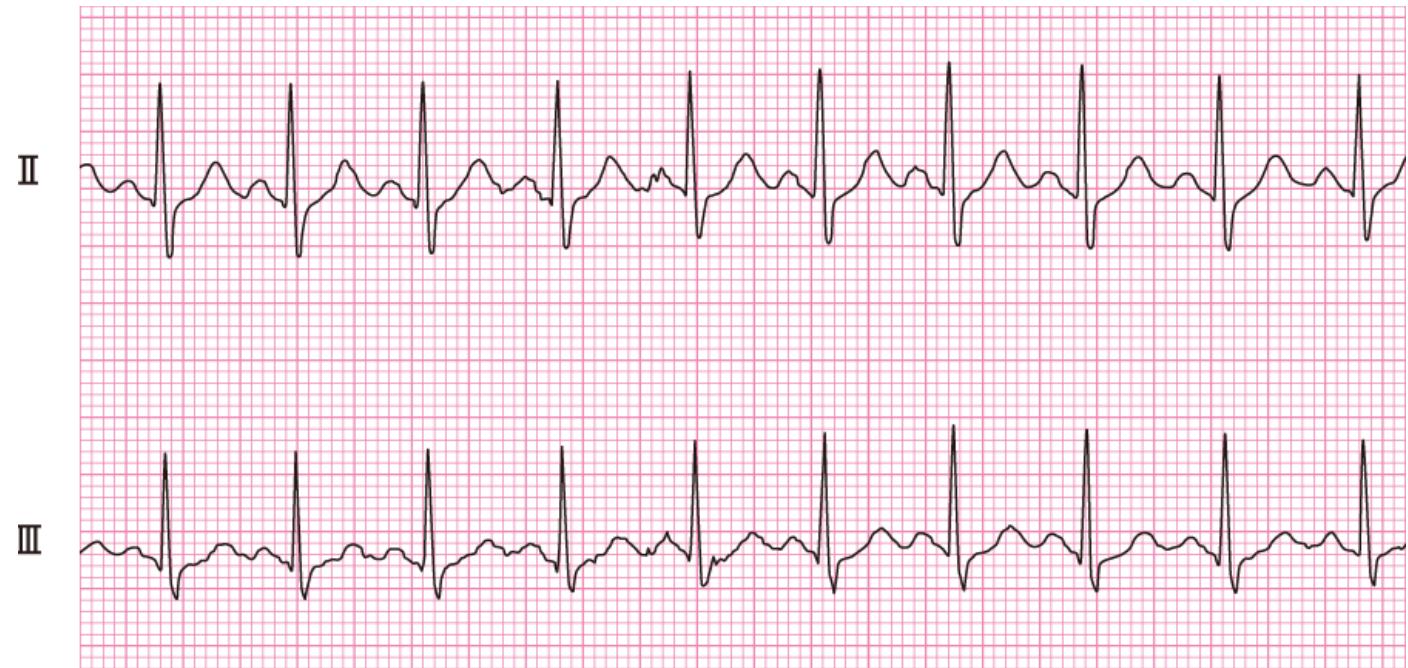
徐脈

A : 42bpm



問題 8

洞性頻脈

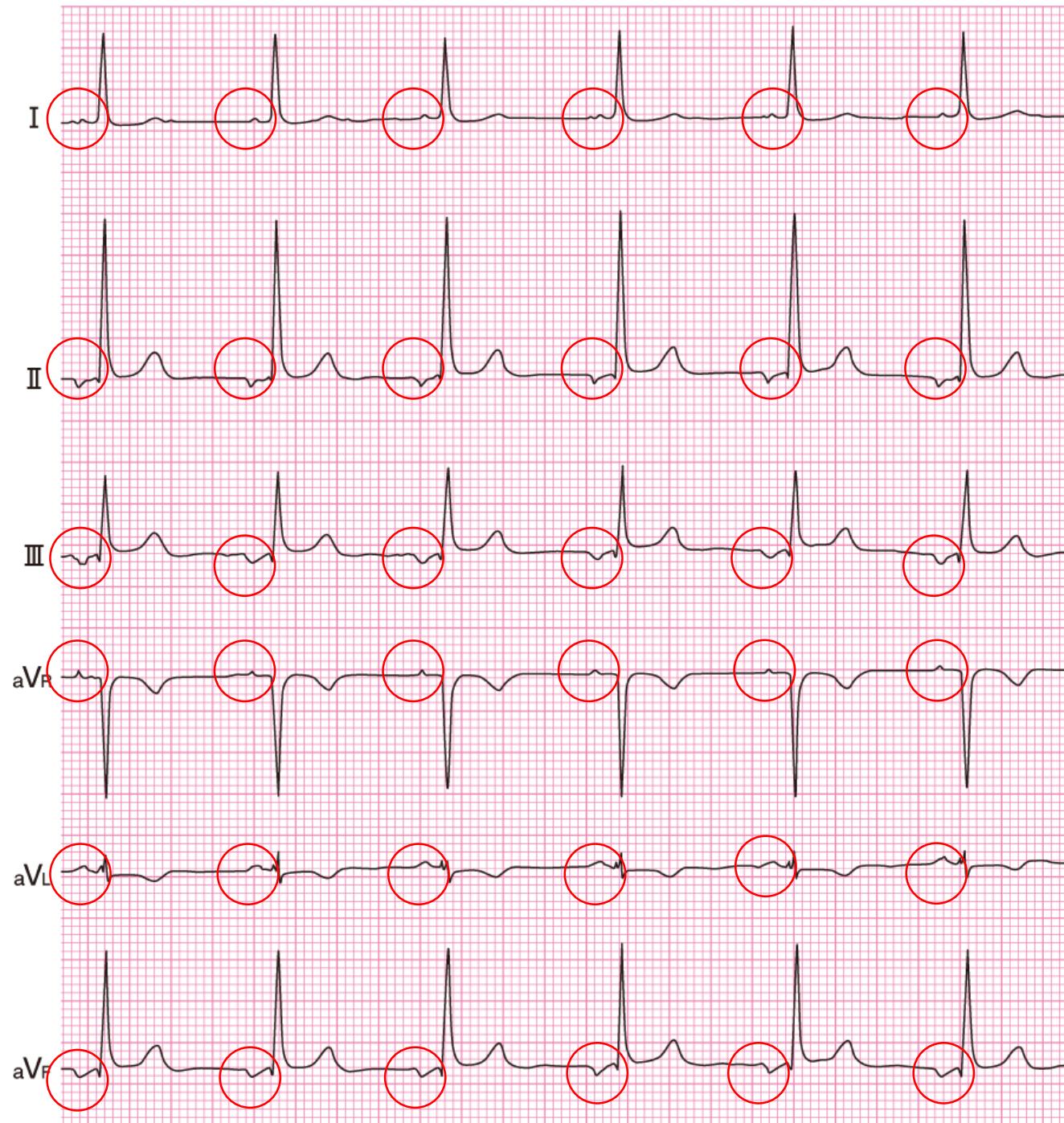


A : HR 150bpm でRR間隔は一定、P波はあり洞調律である

問題 9

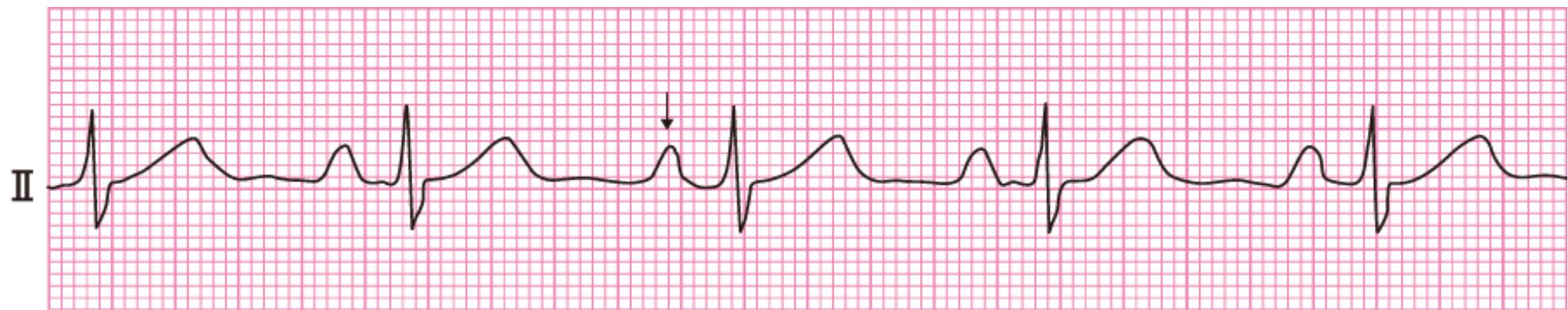
異所性P波

洞結節からのP波ではないことが予測させる



問題10

右房負荷のP波



A : 0.3mV

問題11

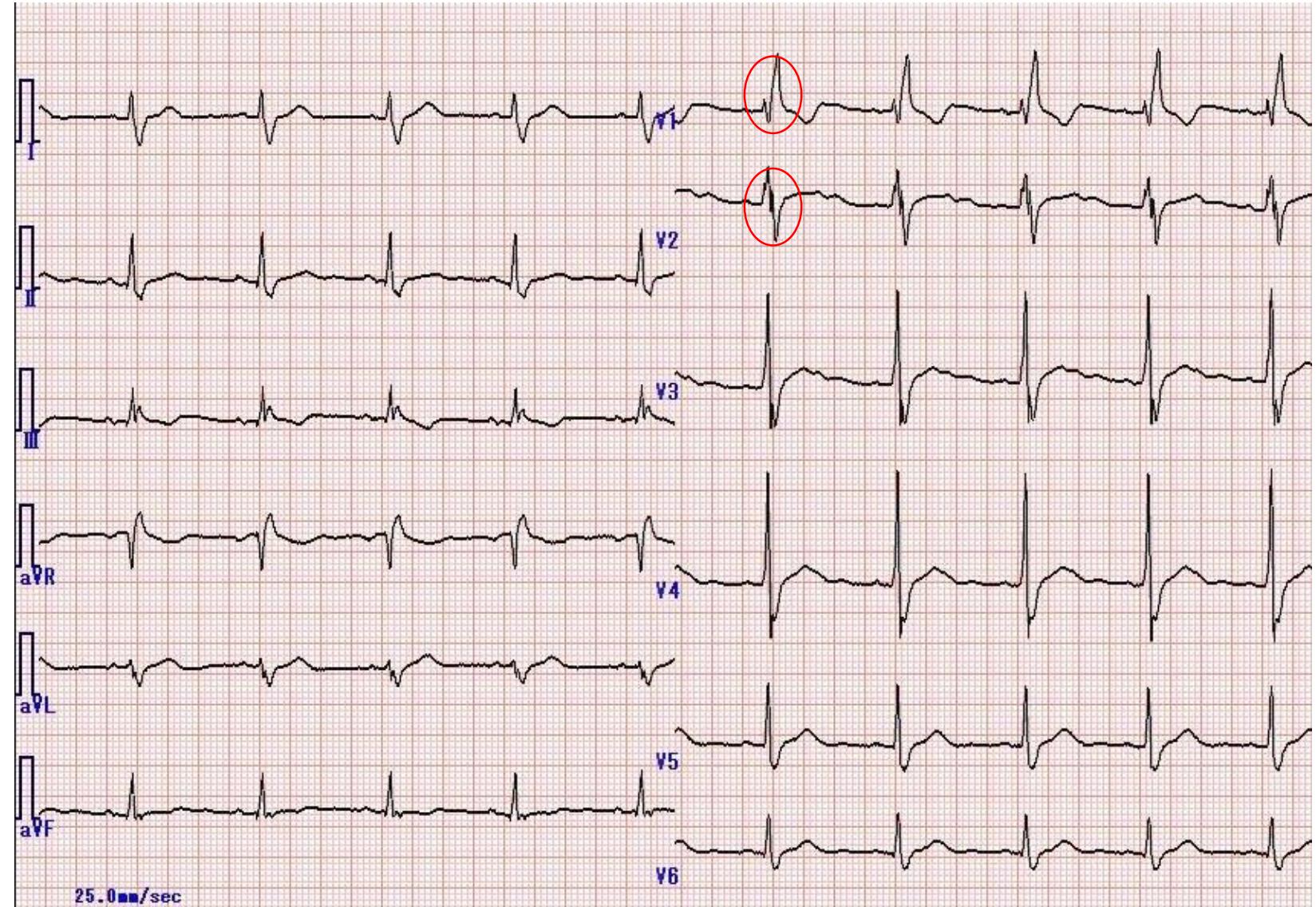
左房負荷のP波



A : 5mmで 0.2秒

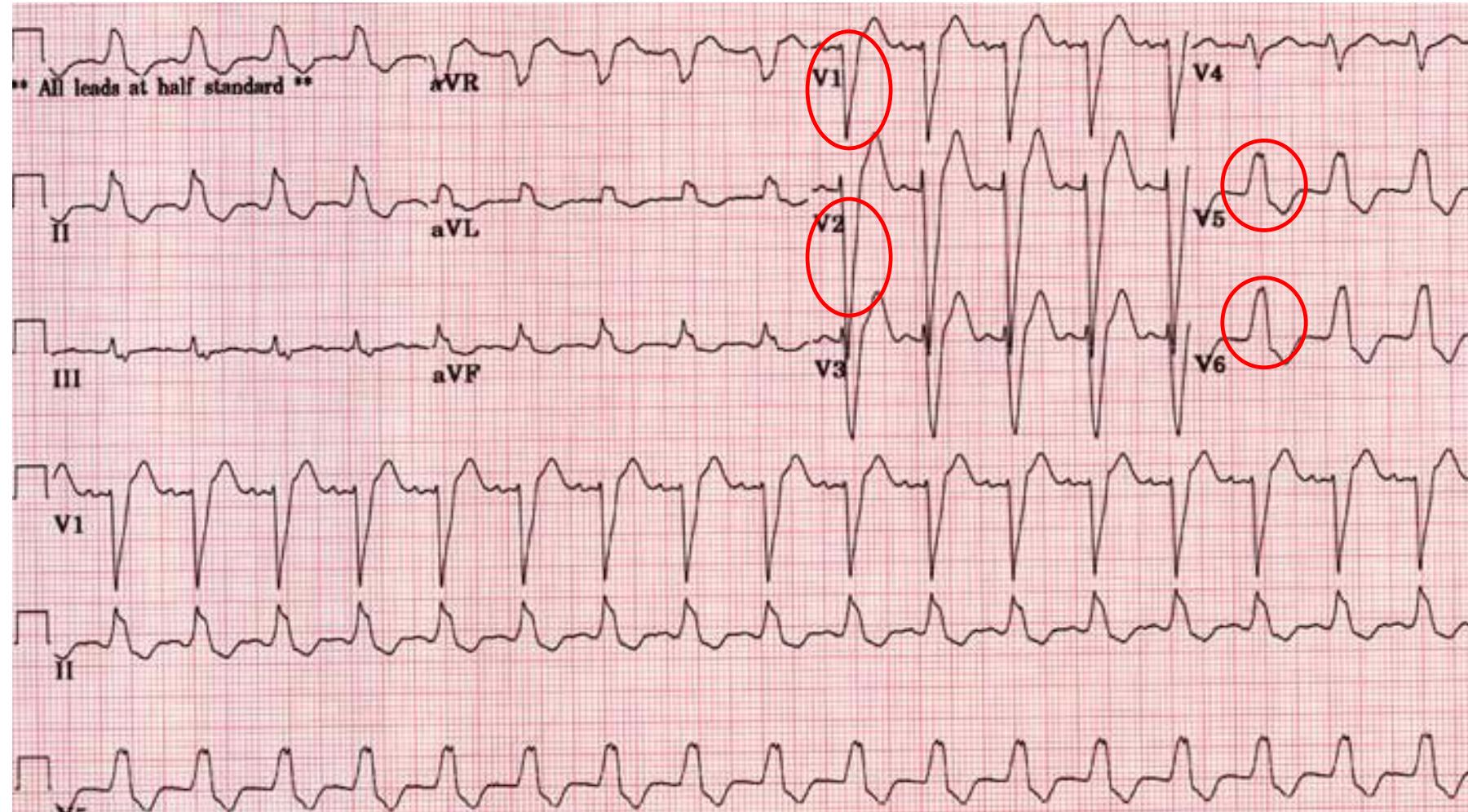
問題12

V1とV2で2峰性の
QRS波がある。
またQRS幅は約4 m
mで完全右脚ブロック
がある。



問題13

V1V2での深くて幅の広いS波とV5、V6の幅の広いR波から左脚ブエロック



問題14

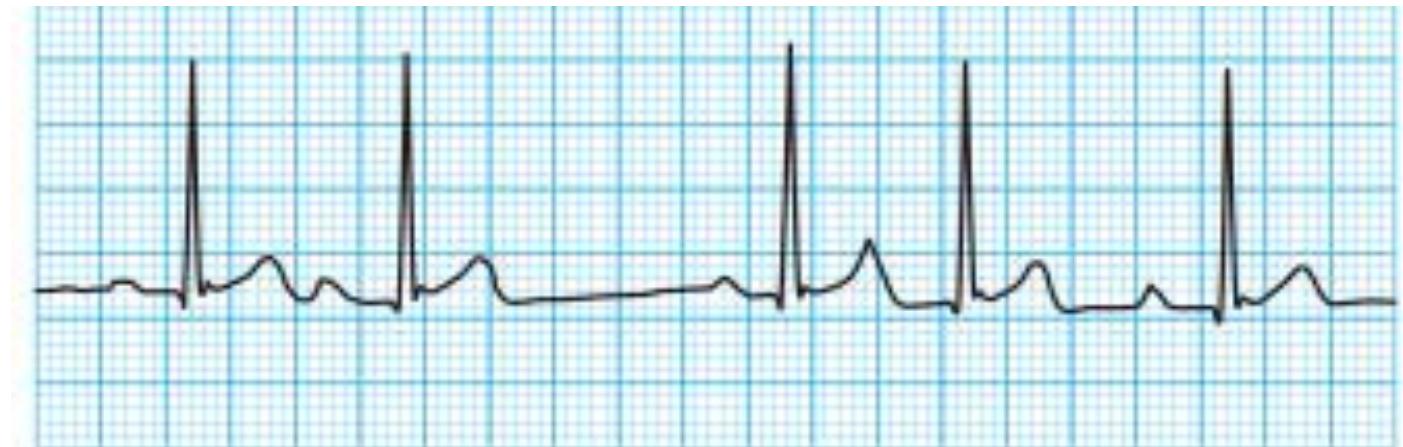
上室性期外収縮

P波：あり

RR：一定ではない

QRSの幅：狭い

f・F波：なし



問題15

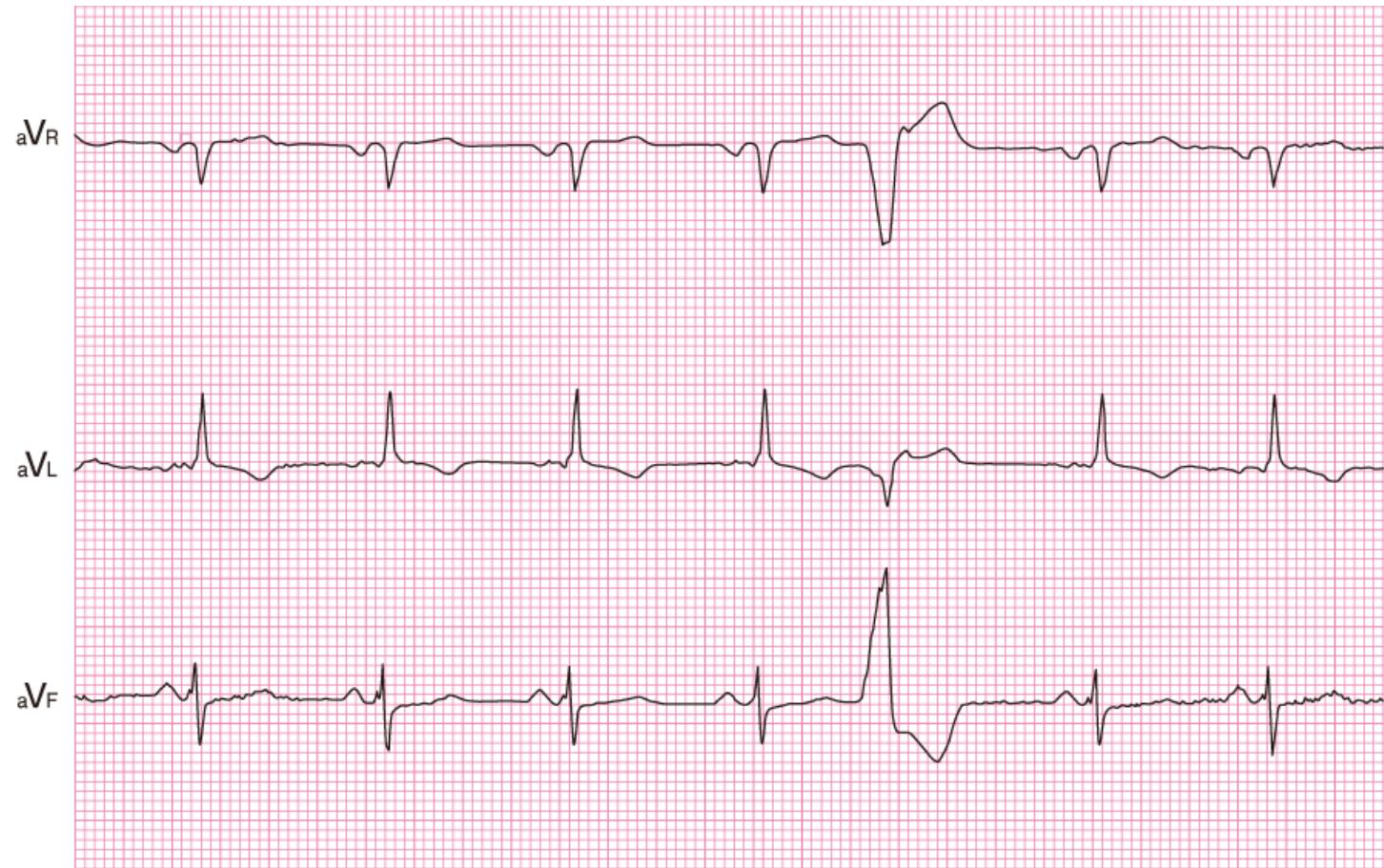
心室性期外収縮

P波：なし

RR：一定ではない

QRSの幅：ひろい

f・F波：なし



問題16

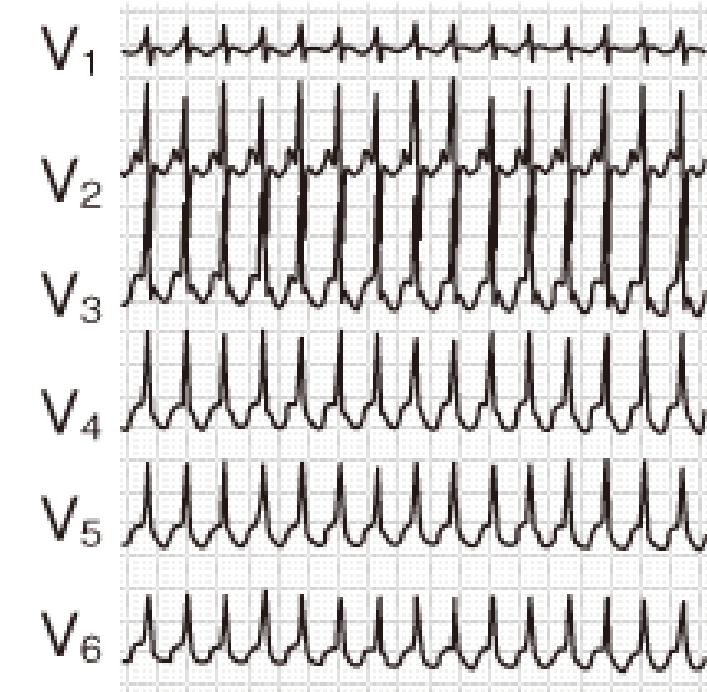
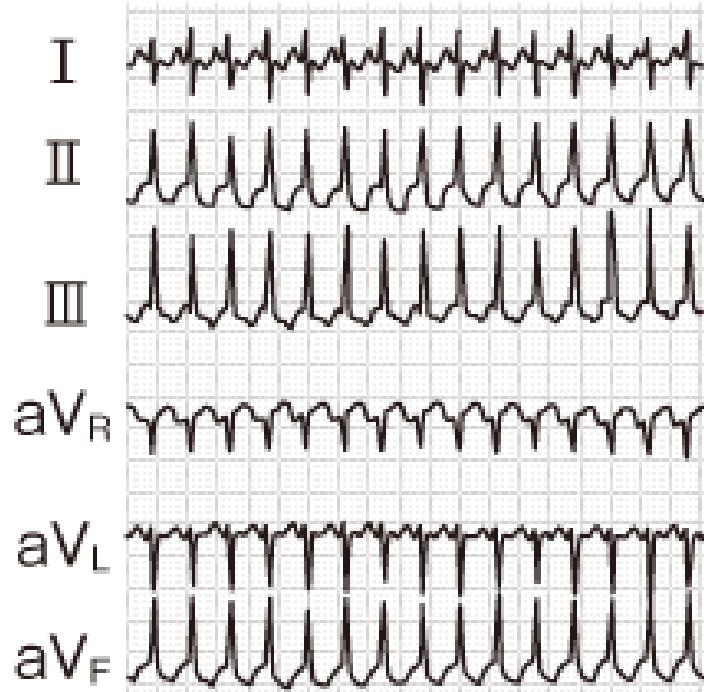
発作性上室性頻拍

P波：なし

RR：一定

QRSの幅：狭い

f・F波：なし



問題17

心房細動

P波：なし

RR：一定ではない

QRSの幅：狭い

f波：あり

F波：なし



問題18

心房粗動

P波：なし

RR：一定

QRSの幅：狭い

f波：なし

F波：あり



問題19

心室頻拍

P波：なし

RR：一定

QRSの幅：広い

f・F波：なし



問題20

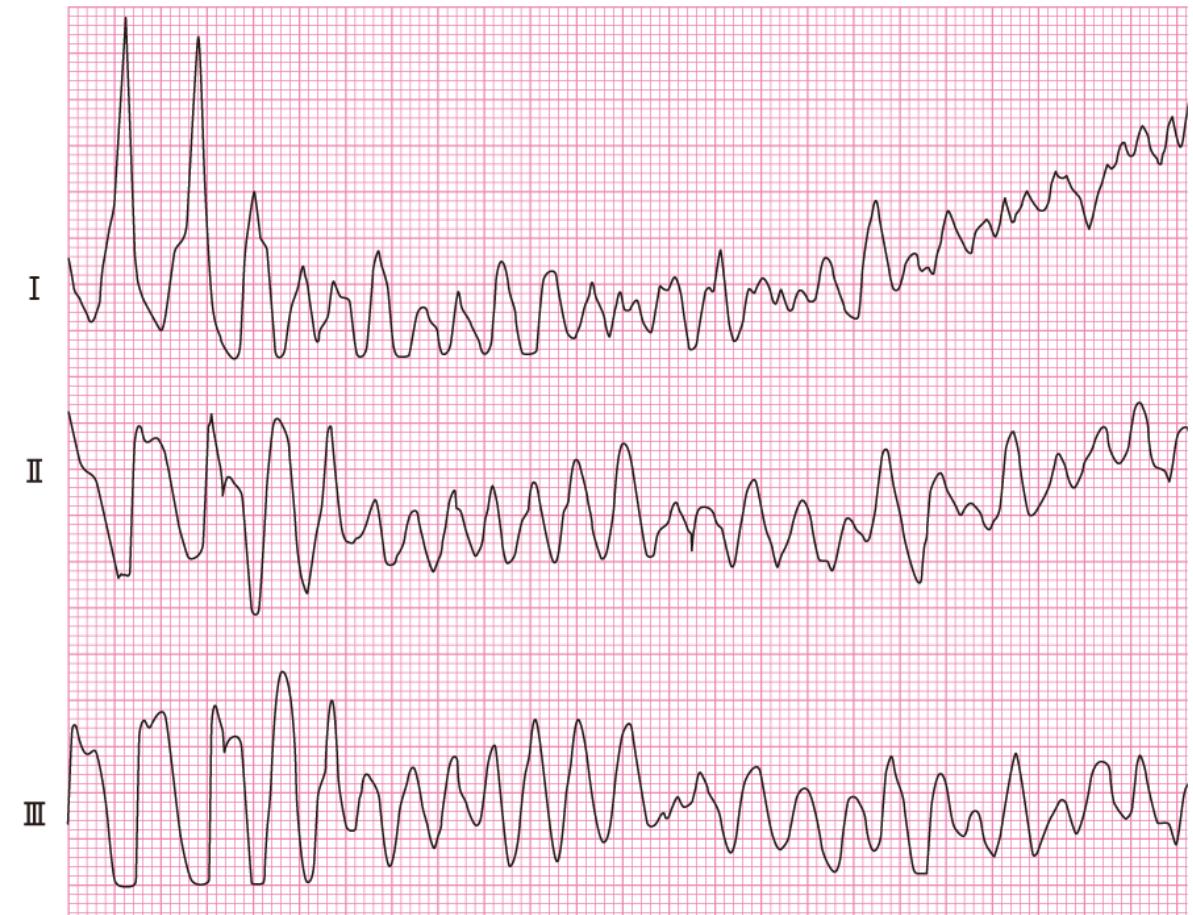
心室細動

P波：なし

RR：一定ではない

QRSの幅：広い

f・F波：なし



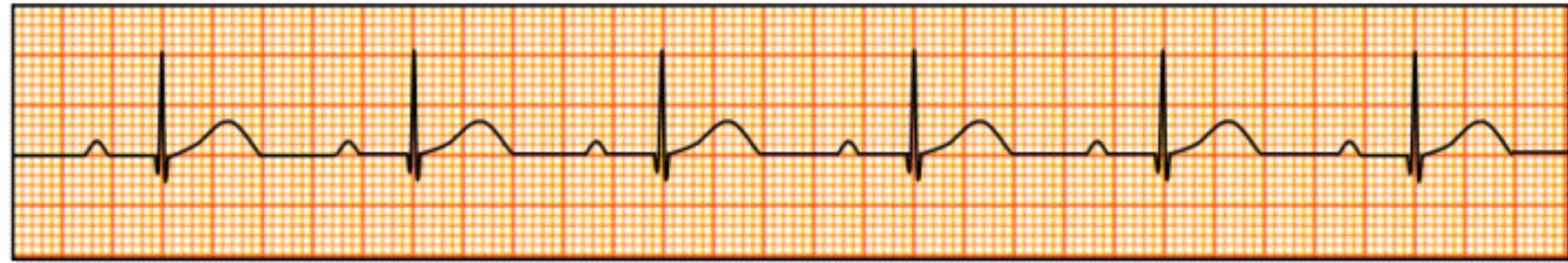
問題21

Ⅰ 度房室ブロック

PQ時間：延長

Pの後のQ：あり

QRSの欠損：なし



問題22

II 度房室ブロック (ウェンケバッハ型)

PQ時間：徐々に延長

Pの後のQ：あり

QRSの欠損：PQ徐々に延長し欠損



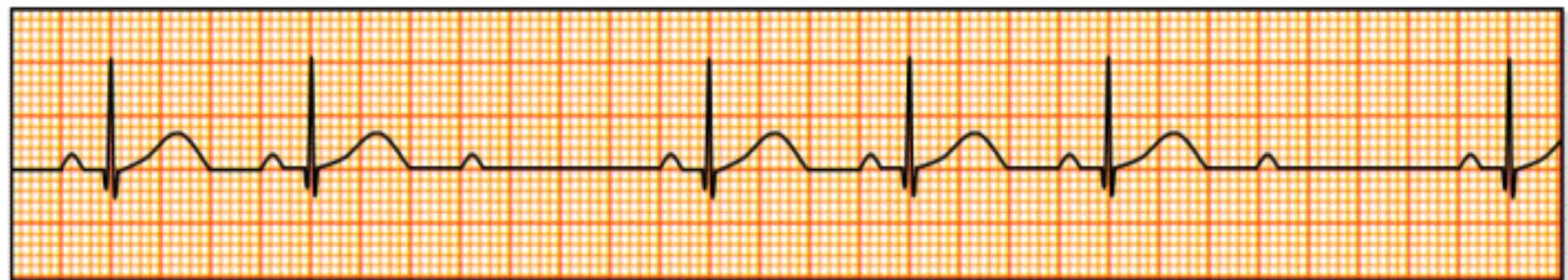
問題23

II 度房室ブロック (モービッツ II 型)

PQ時間：延長なし

Pの後のQ：続く

QRSの欠損：突然欠損



問題24

III度（完全）房室ブロック

PQ時間：延長なし

Pの後のQ：運動しない

QRSの欠損：欠損



問題25

心筋梗塞

